

応用情報技術者標準教科書(2013年版) 正誤 2016/1/31 現在

p.180 5.1.4 クライアントサーバシステム 基本情報までで問われる用語・知識の確認 ストアドプロシージャ

【誤】 データベースへのアクセスを細かい単位でプロシージャ化することによって、処理性能(スループット)を向上させることができ、クライアントとサーバの間の通信量を削減できます。

【正】 機密性の高いデータに対する処理を特定のプロシージャ呼出しに限定することによって、セキュリティを向上させることや、システム全体に共通な処理をプロシージャとして格納することによって、処理の標準化を行うことが可能です。また、複数の SQL 文から成る手続を 1 回の呼出しで実行できるので、クライアントとサーバ間の通信回数を減らすことができます。

p.206 6.2.4[1] ダイクストラのアルゴリズム 4 行目 &p.207 図 6.5 タイトル

【誤】 SW18 春午後 I 問 3 より

【正】 SW18 春午後 I 問 5 より

p.218 6.5.1 マークアップ言語 基本情報までで問われる用語・知識の確認 XML

【説明差替】 SGML から開発された拡張マークアップ言語。独自にタグを定義できる機能を備えており、インターネットを介したデータ交換などに利用されています。

p.272 8.1.6[1] 暗号化 1 行目

【誤】 公開鍵と秘密鍵(⇒p.317(9.1.2)参照)

【正】 公開鍵と秘密鍵(⇒p.321(9.1.6)参照)

p.304 欄外・略語

【誤】 ONU:Optical Net- work Unit

【正】 ONU:Optical Network Unit

p.318 9.1.3 脅威 DoS 攻撃

【誤】 伝送制御キャラクタの SYN(⇒p.263(8.1.5)参照)

【正】 伝送制御キャラクタ(⇒p.271(8.1.5)参照)の SYN

p.326 9.1.10 ⑤公開鍵基盤 基本情報までで問われる用語・知識の確認 PKI

【誤】 公開鍵暗号方式(⇒p.317(9.1.2)参照)

【正】 公開鍵暗号方式(⇒p.321(9.1.6)参照)

p.347[5] LAN アナライザ

【誤】 利用者に影響を与えずに使用できる。ネットワークを通過するパケットを表示できるので

【正】 利用者に影響を与えずにネットワークを通過するパケットを表示できるので

p.421 12.3.6 リリース管理 基本情報までで問われる用語・知識の確認

【誤】 □ITIL v3における変更管理プロセスの目標

【正】 □ITIL v3におけるリリース及び展開管理プロセスの目標

p.427 12.4.6 IT サービス財務管理

【誤】 〔1〕可用性管理に関する留意点と用語

【正】 〔1〕IT サービス財務管理に関する留意点と用語

p.487 14.6.5 要件定義の手法 1行目

【誤】 構造化設計(⇒p.123(4.4.8)参照)

【正】 構造化設計(⇒p.129(4.4.8)参照)

p.487 14.6.5 要件定義の手法 2行目

【誤】 オブジェクト指向設計(⇒p.124(4.4.9)参照)

【正】 オブジェクト指向設計(⇒p.130(4.4.9)参照)

p.540 15.9.3〔1〕 その他のe-ビジネスに関する概念や用語

【誤】 上記以外の生産の自動制御に関する概念や用語

【正】 上記以外のe-ビジネスに関する概念や用語

p.654 索引【正誤】

【誤】 メモリインタリーブ

【正】 メモリインタリーブ

以上